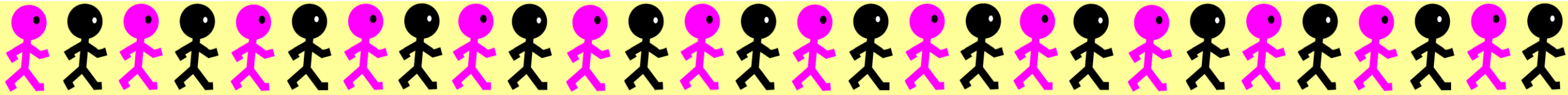


時間学研究プロジェクト

「継続する過去と未来」

説明会：2025年4月24日（木）10:30-11:30

担当：藤沢健太（時間学研究所）



時間学研究所

- 山口大学に設置された研究所

- 2000年設立、広中平祐学長（当時）のリーダーシップ

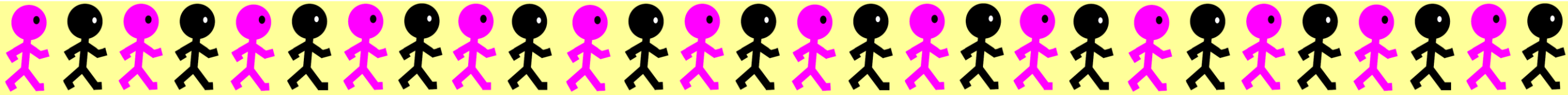
1. 新たな学際領域＝時間学という学問を創造する
2. 時間という観点から研究者間の交流をはかる
3. 成果の社会的な還元を行なう

- 所員

- 専任所員 5名
- 兼務所員 35名

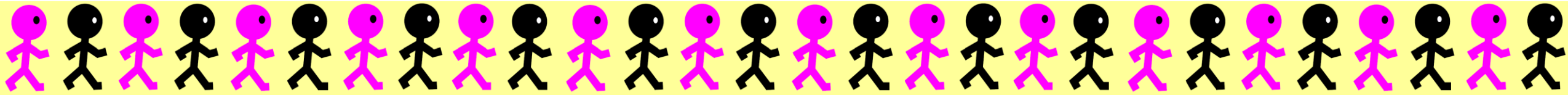
- 活動

- 時間学セミナー
- 公開学術シンポジウム
- 時間学カフェ
- 公開講座
- 日本時間学会の支援
- 国際時間学会との学術交流
- 他研究所との学術交流
- 時間学研究プロジェクト
- その他



時間学研究プロジェクト

- 主に学内の研究者に参加を呼びかける時限研究プロジェクト
 - 第1回 「コロナの時間学」 (2020-2021年度)
 - 「～新型コロナウイルスが人間と社会に対して与える時間的影響」というテーマで学内に研究を公募して実施した。18課題の提案研究が行われた。
 - 第2回 「コロナ危機と時間学」 (2022-2023年度)
 - 第1回に続きコロナ危機をテーマとして、また「時間－過去・現在・未来－」をキーワードにして実施した。10件の課題で研究が行われた。
 - 第3回 「継続する過去と未来」 (2024-2027年度)
 - 「継続」を主なテーマとした時間エッセイ集を作る。研究の論文ではなく、自由なエッセイ集とする。



時間学研究プロジェクト 「継続する過去と未来」

- 目的

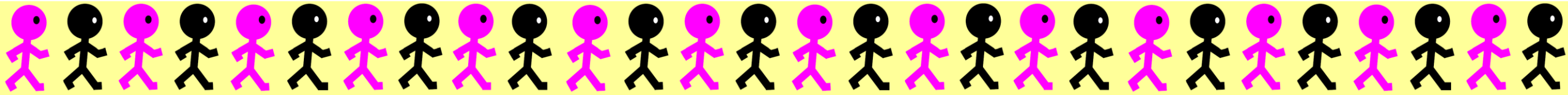
- 様々な分野のアイデアの公開と交流による時間学の発展

- 行うこと

- 参加者の皆様に「継続」を主なテーマとしたエッセイを書いていただき、エッセイ集を作ります。

- 趣旨

- 継続することはそれ自体が時間に基づいた事象であり、時間学のひとつの視点となります。さまざまな分野において継続という概念が扱われていることから時間の多様性を描き出すことができ、また多様性の中にもお互いを関連付ける手掛かりが見つかるものと期待されます。長い時間にわたって何かが続くことは、それだけで人の心を動かす力となりえます。継続することの意義と価値、あるいは継続の難しさと継続のための努力など、あらゆる観点で時間を考えるきっかけになることを期待しています。



時間学研究プロジェクト 継続する過去と未来

山口大学時間学研究所では、『時間学研究プロジェクト「継続する過去と未来」』を実施します。本プロジェクトでは多くの皆様に「継続」を主なテーマとしたエッセイを書いていただき、時間エッセイ集を作成することで時間学の発展を目指します。継続することはそれ自体が時間に基づいた事象であり、時間学のひとつの視点となります。さまざまな分野において継続という概念が扱われていることから時間の多様性を描き出すことができ、また多様性の中にもお互いを関連付ける手掛かりが見つかるものと期待されます。長い時間にわたって何かが続くことは、それだけで人の心を動かす力となります。継続することの意義と価値、あるいは継続の難しさと継続のための努力など、あらゆる観点で時間を考えるきっかけになることを期待しています。

POINT その1

プロジェクト期間は？

2025年4月1日～2028年3月31日
※参加登録期限:2027年11月30日※

POINT その2

誰が参加できるの？

山口大学在籍者であればどなたでも
ご参加いただけます。

POINT その3

投稿したエッセイはどうなるの？

Webサイトで公開し、最終的には纏めて
冊子を作成します。

POINT その4

論文じゃないの？

だれでも気軽に参加できるよう、エッセイスタイルとします。「継続」に関する様々な研究、着想、
経験、観念などを自由に執筆してください。
*目安文字数:500～5000字(超過可)
*図表も可。ただし、著作権に注意してください。

POINT その5

シンポジウム開催

プロジェクト期間中にシンポジウムを
開催します。(時期・場所未定)

POINT その6

どうやって参加するの？

まず、参加登録をしてください。後日、時間学
研究所からご連絡いたします。

ATTENTION

次のことにご注意ください

- * 未発表の文章に限ります。
- * Webで公開され、だれでも閲覧できる状態となります。
- * 学問的な内容でなくてもかまいませんが、山口大学が公開するエッセイにふさわしいものであることが期待されます。
- * 著者と相談の上、編集者が編集を行うことがあります。

参加登録
フォーム

参加登録はこちら



問合せ先

時間学研究所事務局

TEL: 083-933-5848

Email: sh076@yamaguchi-u.ac.jp

参加方法の流れ

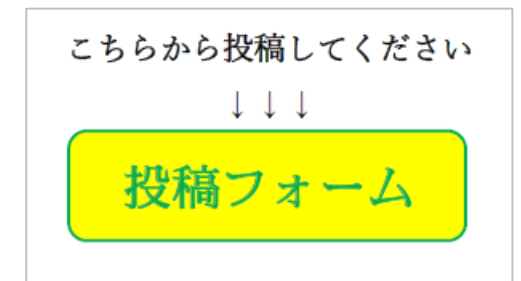
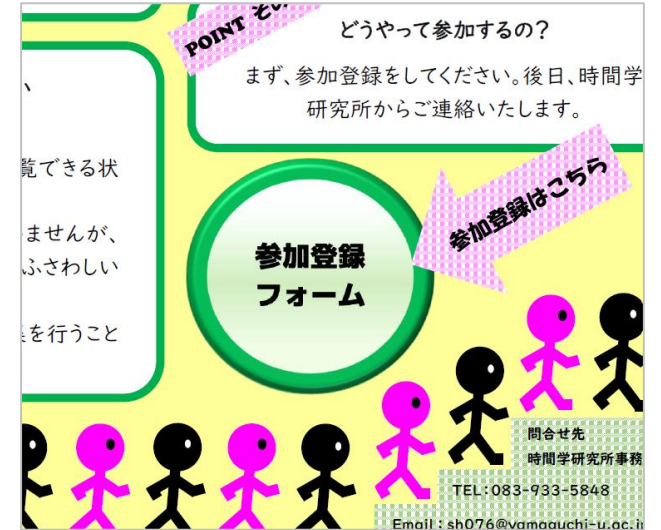
① 登録

- PDFの参加登録ボタンを押す
 - Googleフォームで必要事項を入力
- ⇒ 後日、事務から参加登録受付の書類が届きます

② エッセイ執筆

③ エッセイ投稿

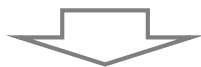
- 事務から届いた参加登録受付書類のボタンを押す
- Googleフォームで投稿



※困ったら事務へご連絡ください (sh076@yamaguchi-u.ac.jp, 083-933-5848)

①参加登録方法

1. チラシ（PDFファイル）を開いて、右下のボタンをクリック
2. 参加登録フォーム（右）が開く
 - 第1ページ
 - メールチェック
 - 山口大学在籍質問
 - 第2ページ
 - 氏名
 - 所属・職名
 - 電話番号
 - メールアドレス
 - 複製権の許諾
 - 公衆送信権の許諾



事務から「参加登録受付」の通知が届きます

The image shows a registration form for the project "時間学研究プロジェクト「継続する過去と未来」" (Time Studies Research Project "Continuing Past and Future"). The form is titled "時間学研究プロジェクト「継続する過去と未来」参加登録" (Registration for the Time Studies Research Project "Continuing Past and Future"). Below the title, it states "山口大学時間学研究所主催『時間学研究プロジェクト「継続する過去と未来」』の参加登録フォームです" (This is the registration form for the project "Continuing Past and Future" organized by the Time Studies Research Institute at Yamaguchi University). The form includes a field for email address, a checkbox for "返信に表示するメールアドレスとして [redacted]@gmail.com を記録する" (Record as email address for reply), and a question "山口大学在籍者ですか？*" (Are you a Yamaguchi University student?). The question has two radio button options: "はい" (Yes) and "いいえ" (No). At the bottom, there are buttons for "次へ" (Next) and "フォームをクリア" (Clear form).

時間学研究プロジェクト「継続する過去と未来」参加登録

山口大学時間学研究所主催『時間学研究プロジェクト「継続する過去と未来」』の参加登録フォームです

[redacted]@gmail.com アカウントを切り替える

* 必須の質問です

メール*

返信に表示するメールアドレスとして [redacted]@gmail.com を記録する

山口大学在籍者ですか？*

はい

いいえ

次へ

フォームをクリア

①参加登録方法

1. チラシ（PDFファイル）を開いて、右下のボタンをクリック

2. 参加登録フォーム（右）が開く

- 第1ページ

- メールチェック
- 山口大学在籍質問

- 第2ページ

- 氏名
- 所属・職名
- 電話番号
- メールアドレス
- 複製権の許諾
- 公衆送信権の許諾



事務から「参加登録受付」の通知が届きます

時間学研究プロジェクト「継続する過去と未来」参加登録

@gmail.com アカウントを切り替える

このフォームを送信すると、メールアドレスが記録されます

* 必須の質問です

参加登録を行います。登録後、一週間経っても連絡がない場合、sh076@yamaguchi-u.ac.jpへご連絡ください。

氏名 *

回答を入力

所属・職名 *
※学生さんは所属と学年を記入してください。

回答を入力

電話番号 *

回答を入力

メールアドレス *

回答を入力

冊子作成にあたり、複製権の許諾について選択してください。 *
※許諾されない場合、冊子に掲載されません。

複製権を許諾します

複製権を許諾しません

Web公開にあたり、公衆送信権について選択してください。 *
※許諾されない場合、Web公開されません。

公衆送信権を許諾します

公衆送信権を許諾しません

時間学研究プロジェクト「継続する過去と未来」

下記内容で参加登録を受け付けました。

登録年月日	██████████
氏名	██████████
所属・職名	██████████
電話番号	██████████
メールアドレス	██████████
複製権	██████████
公衆送信権	██████████

こちらから投稿してください



投稿フォーム



後日、このように書かれたPDFファイルが事務からメールなどで届きます。これで登録完了です。

エッセイのご執筆をどうぞよろしくお願いいたします。

エッセイができましたら、左の「投稿フォーム」ボタンを押してください。

③投稿サイト

- 入力項目
 - 氏名
 - 所属・職名
- エッセイを書いたファイルをアップロード
 - ワード、Googleドキュメント、テキストファイル等を受け付けます。画像も含まれます。



時間学研究プロジェクト「継続する過去と未来」投稿フォーム

ファイル名は「氏名・所属・タイトル」としてください。


@yamaguchi-u.ac.jp [アカウントを切り替える](#)



ファイルをアップロードしてこのフォームを送信すると、Google アカウントに関連付けられている名前、メールアドレス、および写真が記録されます

* 必須の質問です

メール *

返信に表示するメールアドレスとして @yamaguchi-u.ac.jp を記録する

氏名 *

回答を入力

所属・職名 *

回答を入力

こちらにアップロードしてください。*

※Wordファイル、Googleドキュメント、テキストファイル等

サポートされているファイルを1個アップロードします。最大ファイルサイズは10MBです。

 [ファイルを追加](#)

送信

[フォームをクリア](#)

Q & A

Q 研究に関係することを書くのですか？

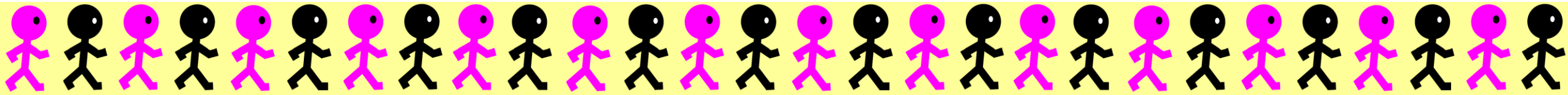
- 研究に関係があっても良いし、直接関係が無くても良いです。

Q どんなことを書けばよいのですか？

- 内容は自由に決めていただいて結構です。研究に関することでも、何かの思い付きでも結構です。ただし「継続」というキーワードをある程度意識した内容としてください。
- 学問的な内容でなくてもかまいませんが、山口大学が公開するエッセイにふさわしいものであることが期待されます。また未発表の文章に限ります。

Q 参加資格は？学生を誘っても良いのですか？

- 山口大学に在籍する教員（名誉教授など過去の関係者も含みます）、職員、学生は参加資格があります。教員が学生を誘っていただいても結構ですし、事務員、技術系職員など、誰でも参加できます。（なお特例として学外者が執筆することもあります）



Q & A

Q 想定読者は誰ですか？

- 山口大学の在籍者を想定していますが、Webで公開しますので誰でも閲覧できます。

Q 文字数に制限はありますか？写真は載せられますか？

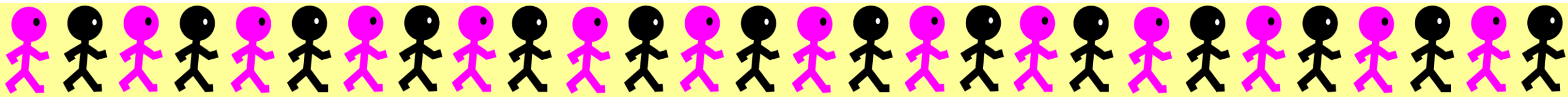
- 文字数に制限はありません。目安は500から5000字ですが、超過しても構いません。また写真、図、表など、冊子に載せられるものは受け付けます。

Q 文字のフォントなど、独自のスタイルにしたいのですが可能ですか？

- できるだけご希望を尊重しますが、やむを得ずスタイルを変更することがありますので、ご了承ください。

Q Webの公開はどこで行われますか？いつ公開されますか？

- 時間学研究所のWebサイトで公開予定です。詳細は後日お知らせします。なお、原稿が届き次第、順次公開する予定です。



Q & A

Q シンポジウムではどんなことをするのですか？

- 詳細は未定ですが、執筆していただいたエッセイに関する数件の講演と対談などを行う予定です。

Q 作成した冊子はもらえますか？

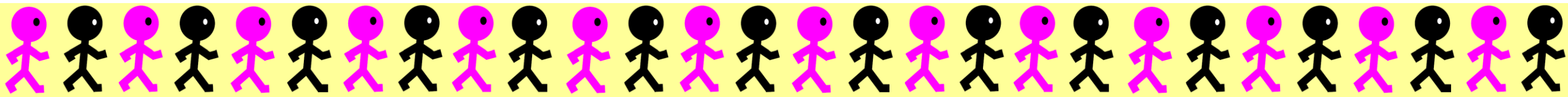
- 参加者の皆様には冊子をお配りする予定です。

Q 投稿した原稿を、後で別の媒体で発表しても良いですか？

- 良いです。ただし本プロジェクトで発表した原稿であることを明記してください。

Q 予算配分はありますか？

- ありません。



ご参加をお待ちしています！

ご相談などはお気兼ねなく時間学研究所事務へご連絡ください
(sh076@yamaguchi-u.ac.jp, 083-933-5848)

